

元気に100歳を迎えました 石塚きよさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈

6月25日、小原地区にお住まいの石塚きよさんを風間市長が訪ね、満100歳を迎えたきよさんに、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈りご長寿を祝福しました。きよさんは18歳で結婚され、結婚後は4人の子育てに奮闘の日々を送られました。現在、10人のお孫さんがいます。55歳から植木の挿し木、85歳から編み物が好きになったとのこと。また、食べ物はごはんと具だくさんのみそ汁、まんじゅうやもちが好きで、ケーキやめん類が不得意とのこと。この日は親族が集まり、全員できよさんの100歳を祝い、きよさんはとてもうれしそうな表情を見せていました。



▲風間市長とご家族で100歳を祝いました

生の英語を間近で体感! E I G Oで話そう



▲ゲーム「私はだれですか」の様子

7月4日、壽丸屋敷で「E I G Oで話そう」が開催されました。この日は、約10人の皆さんが、市の外国語指導者や国際交流員と、「私はだれですか」という参加者から与えられたヒントでフリップに書かれたテレビのタレントやアニメのキャラクターを当てるゲームなどを行いました。参加者はゲームなどの遊びを通して英語を聞き、そして、話す楽しさを満喫していました。講師のダニーさんは「遊びの中でこそ、英語がぐんぐん身に付いていきます。英語を覚えることも遊びだという感覚は自然なものです」と話をしました。

開発途上国の経済・社会の発展や福祉の向上に寄与 青年海外協力隊員齋藤まりさんが市長を訪問

6月15日、JICA青年海外協力隊員としてマレーシアに出発する齋藤まりさん（大鷹沢）が風間市長を訪ねました。まりさんは、中学時代にODA（政府開発援助）の協力隊に興味を持ち、その後、大学3年のときにパラオ共和国を訪問し、実際に現地で活動する協力隊員に出会ったことで自分も挑戦したいと思ったそうです。風間市長が「体には十分注意してステップアップしてください」とエールを送り、まりさんは「障害者スポーツの普及・発展や環境整備、指導者の育成に努めたい」と、今後の抱負を述べました。



▲風間市長に今後の抱負を述べました

「うーめん体操」ちゅるちゅるちゅるっ グループホームたかのす「うーめん体操」実技研修



▲終始笑顔であふれていた研修会の様子

6月27日、認知症対応共同生活介護施設「グループホームたかのす」で、東保育園の保育士2人を講師に招き、「うーめん体操」の実技研修が行われました。参加者は、入所される方が楽しみながら体を動かすことができるようにと真剣に取り組み、元気いっぱいに踊りを学び、研修会場は終始笑顔であふれていました。同施設は7月1日に開所。利用者定員は18人で、地域の中でのコミュニケーションを大切に、開放的なグループホームを目指したいとのこと。詳しくは、グループホームたかのす（☎29-3530）までお問い合わせください。

緑いっぱいの園庭が待ち遠しい! 北保育園の園庭で芝生の植え付け作業

6月26日、北保育園の園庭で芝生の植え付け作業が行われました。「子どもたちに素足で元気に駆け回ってほしい」という思いから始まったこの事業。この日は保育参観も兼ねての開催となり、気温30度を超す中、保護者や地域の方も一緒になって、450平方メートルの園庭に1,800ポットの苗を植えました。芝生は手間や経費がかかるとされていましたが、最初から苗を敷き詰めずに芝本来の繁殖力を利用する「鳥取方式」を採用。9月ころには全面が芝生で覆われる予定です。芝の管理などは地域の方にもお願いし、地域全体で子育てを支えています。



▲汗をかきながら親子で芝生を植えました

地域とふれあい、まちをきれいに 越河小学校の児童が「やまびこクリーン作戦」を実施

6月14日、越河小学校（紺野壽雄校長）の全児童が「やまびこクリーン作戦」と題した、下校に合わせたの通学路の清掃活動を行いました。

「やまびこ児童会」という越河小の児童会名にちなんで名付けられたクリーン作戦。「自分の住む地区をきれいにしたい」「地域の人たちとのあいさつをしっかりとしたい」という思いから、児童会が率先して活動を決め、昨年の秋に続いて今回が2回目となりました。今回は、放課後子ども教室を担当する地域の方も参加し、児童たちと一緒にゴミ拾いなどを行いました。



▲子どもたちにとっても地域がきれいであることが願い

新しい高校を温かく見守りたい 白石女子高校同窓会白石支部が最後の総会



▲男子生徒も加入した新白石高校吹奏楽部による演奏

7月4日、白石女子高校同窓会白石支部の最後となる第9回総会がパレスリゾート白石蔵王で行われました。同校の同窓会支部としては一番遅い平成6年に設立された白石支部。会員数は3,500人を数えます。本年4月の統合により本部総会は昨年度に終了し、白石支部の活動も本年度で締めくくることがとなりました。最後の総会には同窓生約180人が出席し、思い出話に花を咲かせていました。また、新白石高校吹奏楽部による演奏も披露され、部長の柴絵梨奈さん（3年）が「白女の歴史を忘れず、伝統を受け継いでいきたい」と話しました。

白石サッカースポーツ少年団が3位と健闘! 白石市長杯少年サッカー大会



▲ドリブルを仕掛ける白石サッカースポーツ少年団の川井康平くん（左）

6月26日・27日の両日、白石川サッカー公園を会場に「第5回白石市長杯少年サッカー交流大会」が開催され、県内外から参加した12チームが熱戦を繰り広げました。

本市からも3チームが参加し、白石サッカースポーツ少年団が予選リーグを突破し準決勝に進出。準決勝では再三の好機がありましたが、残念ながら、オウンゴールで1点を失い0対1で敗れ、試合後は涙を流す選手もいました。気持ちを切り替えて臨んだ3位決定戦では、手に汗握る攻防の末、1対0で塩釜FCに勝利。気持ちを切らさず、悔しさをバネに選手は頑張りました。